

上越市庁舎再編基本方針(案)、またしても行政主導で策定 現在のガス水道局庁舎に市長部局が入り、ガス水道庁舎新築へ



総務常任委員会で発言する私（12月26日）

上越市は12月26日の市議会総務常任委員会で、「上越市庁舎再編（配置の最適化）の基本方針（案）」を明らかにしました。（案）の中心部分は木田の第1庁舎に加えて現在のガス水道局庁舎を市長部局の基幹庁舎として位置付ける。それに伴い、ガス水道局庁舎は謙信交流館近くの土地に新たに建築するというものです。

今回の方針づくりの直接的なきっかけは昨年8月6日に発生した火災です。これにより第2庁舎（992㎡）を失い、そこに入っていた課、行政委員会などは第1庁舎、第3庁舎、教育プラザなどに分散配置されました。

民のプライバシーに配慮した相談スペースやミーティングスペースが不足していたことなどを踏まえ、上記のような基本方針（案）をまとめたということ

総務常任委員会では、財務部長から方針案の説明を受けた後、活発な質疑が行われました。特徴的なことは、木田第1庁舎を80年使うことを目標とするなど長期計画となつてきているにもかかわらず、市民抜きで検討してきたことや26日に総務常任委員会審査をやって、翌日の27日からもうパブリックコメントを実施することになっていることに批判や疑問の声が相次いでこ

とです。

私からは、「長期的な計画になる中で、行政職員だけで検討してきたのは問題だ。何故、有識者や市民を加えた検討をしてこなかったのか」「自治基本条例には協働によるまちづくりがうたわれている。庁舎のあり方はこの視点からの検討も必要だ」と訴えました。

近藤議員は、「明日からパブコメ、あれ、拙速だ」と思った」などとのべ、市民からの意見をしっかりと聴くよう求めました。

内山議員（議長）は、「市民のみなさんに再編によって便利になつたと思われようにしてもらいたい。災害に対する機能を（この際）充実させることが必要ではないか」などと質問しました。

栗田議員は、「今は職員の執務のためにどういう機能が必要かを中心に考えているが、何人かの議員が発言したように、市民にとつての庁舎」となると、それだけでいいのか疑問だ」とのべてい

ました。

庁舎再編基本方針（案）はいま、市のホームページに掲載され、パブリックコメントにかけられています。意見の提出は1月25日までです。



【ハネヒツジゴケ】アオギヌゴケ科。漢字で「羽根羊苔」と書きます。12月下旬に雑木林の中で見つけました。湿度が高い倒木の上などに群生しています。吉川区小苗代にて撮影しました。



【羽子板型年賀状いただきました】
高田のYさんから正月早々、絵手紙年賀状をいただきました。羽子板型です。「今年もワンサかいい年でありますように」と書いてあります。

新春の集い、2月4日開催
「橋爪のりかずを囲んで新春の集い」を2月4日（日）午後1時半から吉川多目的集會場で開催します。会費は1000円。集いには、井上さとし参院議員、梅谷守さんも参加されます。お酒も出ますので、飲酒される方は車に乗っての参加はご遠慮ください。

はしづめ法一の活動レポート

No.1840 2018.1.14
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い 第四八八回 山菜オードブル

今回は山菜の話です。びっくりしましたね、同じ上越市でも知らないことがいくつもあるんですから。

先日、新春宣伝で板倉区に入ったときのことです。機織のSさん宅にご挨拶に伺った際、居間に上げさせてもらってお茶をご馳走になってきました。

新年の挨拶をし、コタツの上の料理に目を向けた瞬間、「うわー、すごい」と思いました。そこには、ほとんど山菜だけのオードブルがあったのです。それもそれぞれ形よく、きれいに並んでいました。

直径三五センチほどの円形の入れ物の中にあつたものは、胡麻(ごま)がちよっぴり振りかけられた太いゼンマイ、採ってきたばかりではないかと錯覚するぐらい鮮やかな緑色のコゴミ、小さくカットされたウド、ワラビなどの山菜料理です。山菜でないものは、ニンジン、チクワ、コンニャクくらいなものです。

コンニャクはオードブルの真ん中であり、花びらのような形になっていました。しかも、その「花びら」の「めしべ」にあたる位置には新生姜(しょうが)の甘酢漬けがちよこんと置いてあるじゃありませんか。全体として暗くなりがちなおードブルをピンク色の生姜とだいたい色のニンジンで明るく仕上げるとは見事です。

春の山菜シーズン、私はいくつもの山菜料理がテーブルの上に並ぶ姿を何度も見してきましたが、山菜を主体にしてこんなにも素敵なおードブルをつくる事ができるとは思ってもみませんでした。

山菜オードブルを作ったのは女性グループ、『寺野いろりばた』(代表は下久々野の島田チイさん)のみなさんです。同グループは一五年ほど前につくられた組織ですが、年末の山菜オードブルだけでなく、

これまでも地元のイベントで、四〇種もの山菜バイキングに取り組んだり、笹寿し、ミヨウガ団子、オコワなどを作ったりして大活躍してきました。

この日、オードブルでもう一つ驚いたことがあります。山菜オードブルの中のウドの隣にウドに似たものが並べられていたのです。ウドの茎よりは平べったくて、口に入れると、こりこりした歯ごたえがありました。

私は何だろうという顔をしていたら、Sさんが笑って、「トトガラだね、サイキキとも言うけど」と教えてくれました。

トトガラ？ 初めて聞く名前です。またの名をサイキキと言う？ 正式名称はシシウドと言いますが、山菜の一つとして食べられると紹介してもらったものの、私はすぐには信じられませんでした。

サイキキのことをトトガラというのであれば、トトガラは子ども時代からよく知っている野草です。野山の草が始めたばかりの頃、牛のえさとして刈って与えてはいました。でも、人間も食べているという話は初めて聞きました。驚きましたね。

電話で島田チイさんに詳しいことを聞いてみました。トトガラは黒倉の標高の高いところで、茎が三〇センチから五〇センチくらいのときに手でポンと折って採ってくるのだそうです。鎌ではなく、手で採ることによってトトガラのやわらかさがわかるとか。ただ、難しいのはトトガラの塩漬。ちよっとなした加減で「こりこり」どころか柔らかくなってしまうというのです。

二〇〇五年一月に一四市町村が合併し、現上越市になりました。面積は佐渡島よりも大きい市です。山菜ひとつとっても、私の知らない魅力がまだまだたくさんありそうです。また、春が楽しみになってきました。

ニュースフラッシュ



吉川区の川谷地区で7日、40回目の冬まつりが行われ、地元の人のほか法政大学OBのみなさんなどが参加しました。楽しいまつりでしたよ。

同地区は地域づくり計画、「百笑百年物語」を策定したことなどで話題となっている地域です。冬まつりでは、3本の杵を使った餅つき、雪上運動会、サイの神などに取り組みました。サイの神の煙はまっすぐ上がりました。今年も豊作です。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月3日(水)	1月10日(水)
上越南消防署	0.060	0.047
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.090	0.050
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.053	0.040
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.053	0.057



柿崎シネマ倶楽部が8日、柿崎コミプラにて児童文学作家・小川未明の童話を原作にした映画を上映しました。

上映したのは、「野ばら」「月とアザラシ」など4本の平和の尊さや人のやさしさなどを学ぶ、いい機会となりました。

1年半ぶりに人間ドックへ行ってきました。

呼吸機能など一部で前回より数値がよくなっていましたが、体重、中性脂肪など悪化しているものが多く、保健指導を受けることになりました。右のカットは腹部エコーです。

